

60269

教科書文庫

6

720

34-1950

01304
49901

Kodak Gray Scale

C
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

102 6 8 7 9 9 4 4 3 2 1 01 6 8 7 9 9 4 7 3 2 1 0

交 部 省 検 定 済 教 科 書

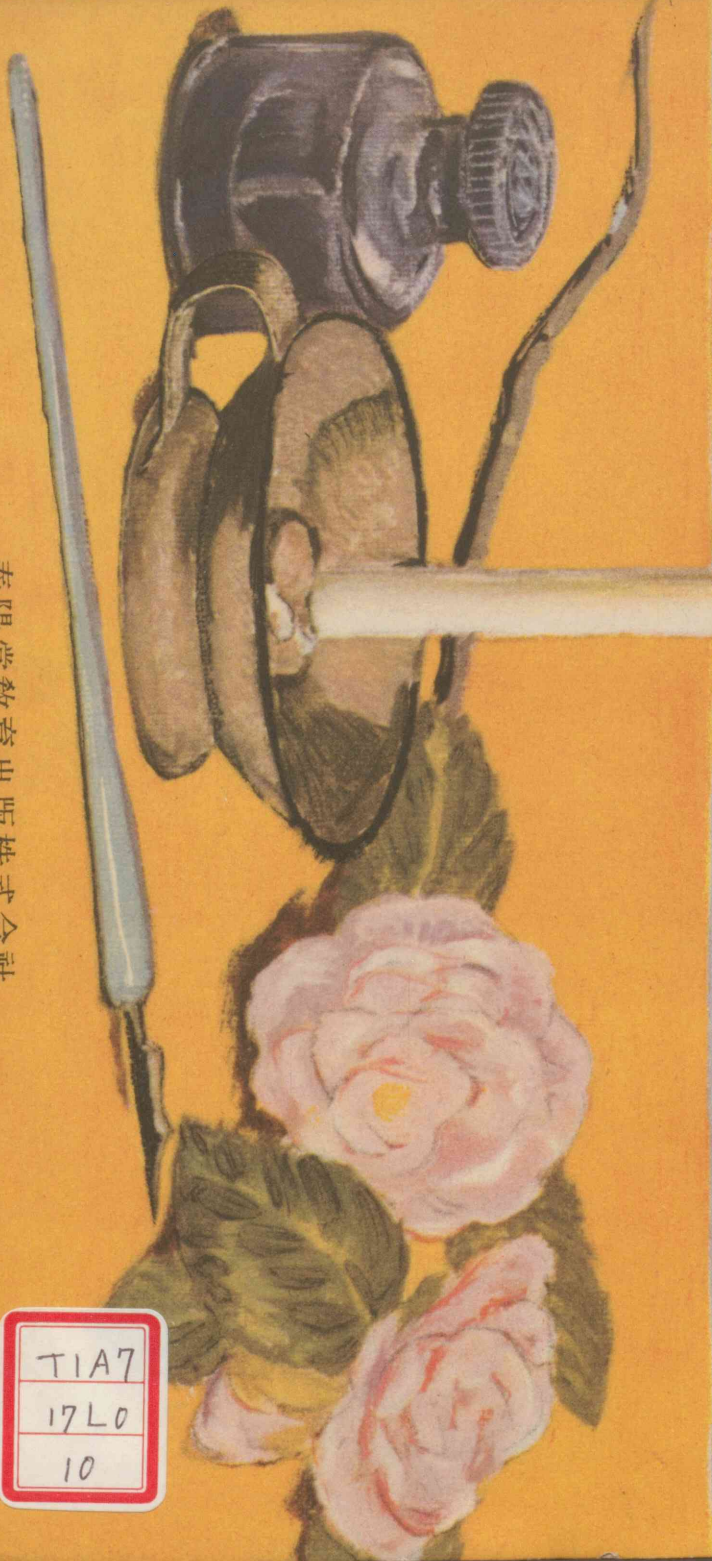
小 学 書 方

五 年

西 脇 吳 石 編

10 小国541
春 陽

236



春 陽 堂 教 育 出 版 株 式 会 社

TIA7
17L0
10

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

中央図書館

広島大学図書

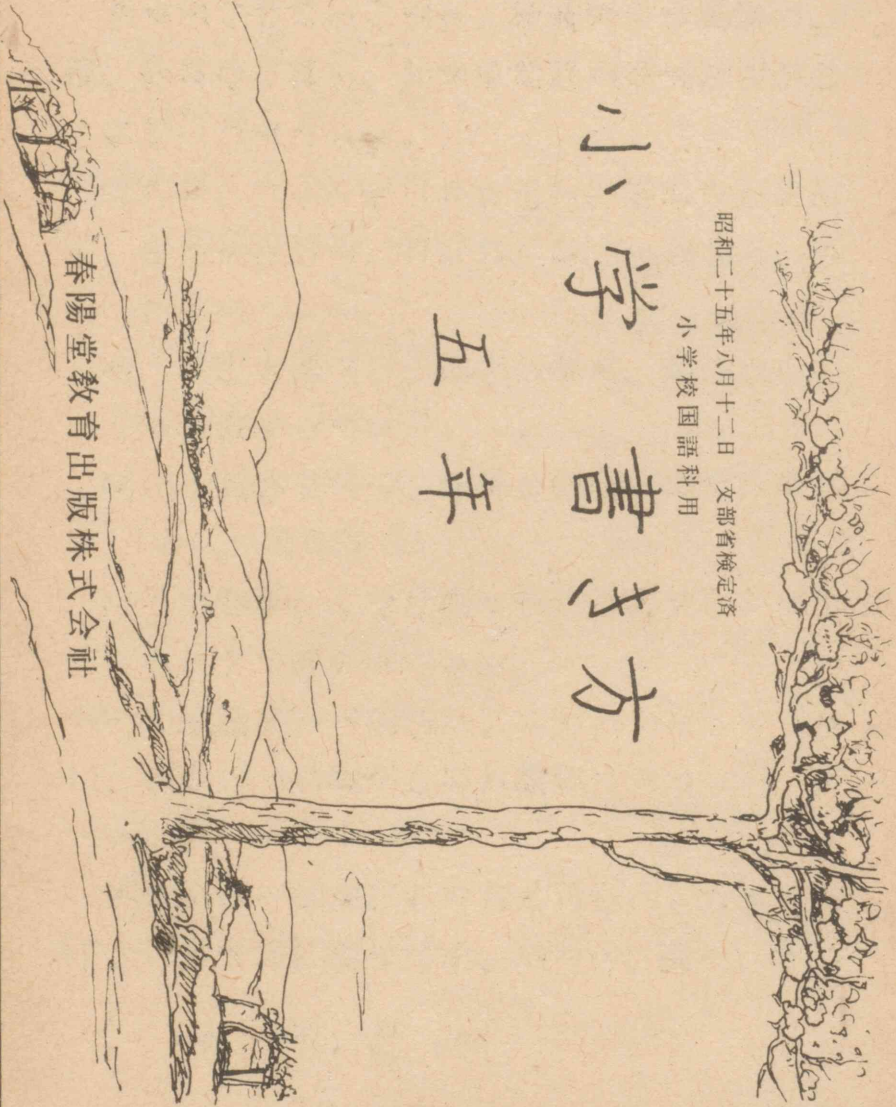
0130449901



昭和二十五年八月十二日 文部省検定済
小学校国語科用

小学書方 五年

春陽堂教育出版株式会社



まえがき

- 一、この本は、皆さんが、正しく、速く、美しく字を書く力をつけるためにつくったものである。
- 二、次のことに気をつけて練習しましょう。
1. 説明をよく読んで、目あてをはつきりさせてから書きましょう。
2. しせい、ペンの持ちかたに気をつけましょう。
3. 一度書いたら、手本の字とくらべてみてまた書きましょう。
4. 説明を読んで、自分で考え、進んでやってみましょう。
- 三、少しずつでも、たびたびけいこすれば、それだけ、じょうずになります。毎日つづけてけいこしましょう。
- 四、字は心の鏡で、字をみればその人がかわかるといわれています。手本をみて練習し、基本になる力がついたら、自分のすきな美しさが自分の書いた字にあらわれるようにつとめましょう。

目

次

一 学級日記	ニペン字の書きかた	三文字の形をよくする	方法	四 覚え書き	五 プログラム	六 体格・体力表	セからだに気をつけよう	ハ文のなおし方	九 見学報告書(一)	十 見学報告書(二)	ニ四 国民の祝日	ニ五 文字のくせと書風	ニ六 年表の書き方	ニ七 対話 — 人形しばい	ニ八 類字集め	ニ九 卒業生を送る歌	三 最上級生になる
一 学級日記	ニペン字の書きかた	三文字の形をよくする	方法	四 覚え書き	五 プログラム	六 体格・体力表	セからだに気をつけよう	ハ文のなおし方	九 見学報告書(一)	十 見学報告書(二)	ニ四 国民の祝日	ニ五 文字のくせと書風	ニ六 年表の書き方	ニ七 対話 — 人形しばい	ニ八 類字集め	ニ九 卒業生を送る歌	三 最上級生になる

一 学級日記

四月六日(金) 晴 日直 浅井 勇		朝 礼	<p>校庭。自治委員任命式。校長先生から学校自治についてお話があった。</p>	<p>1. 学級自治会(九・〇〇一・〇・〇〇) 自治委員からあいさつがあった。 「学校自治をどのようにしたらよいか」 五年生としての心がけを話し合う。</p> <p>2. 単元学習「生活の合理化」(二〇・二五・二二・〇〇)</p> <p>研究問題の発表(個人・分団) 研究グループの相談</p> <p>3. 人口調べ「グラフ」(一・〇〇一・二・〇〇) 4. 言語「個別学習」(二・〇〇一・二・二〇) 5. 体育「リズム体操」(二・二五・三・〇〇)</p>	<p>清 整</p> <p>良好。教室とろう下に花をかざる。(二はん)</p>	<p>家庭学習</p> <p>「生活の合理化」研究方法</p>	<p>反 省</p> <p>自治会で相談したように、五年生として努力していききたい。</p>
○学級日記のよい形式を考えよう。							

四月六日(金) 晴 日直 浅井 勇	朝 礼	<p>校庭。自治委員任命式。校長先生から学校自治についてお話があった。</p>	<p>1. 学級自治会(九・〇〇一・〇・〇〇) 自治委員からあいさつがあった。 「学校自治をどのようにしたらよいか」 五年生としての心がけを話し合う。</p> <p>2. 単元学習「生活の合理化」(二〇・二五・二二・〇〇)</p> <p>研究問題の発表(個人・分団) 研究グループの相談</p> <p>3. 人口調べ「グラフ」(一・〇〇一・二・〇〇) 4. 言語「個別学習」(二・〇〇一・二・二〇) 5. 体育「リズム体操」(二・二五・三・〇〇)</p>	<p>清 整</p> <p>良好。教室とろう下に花をかざる。(二はん)</p>	<p>家庭学習</p> <p>「生活の合理化」研究方法</p>	<p>反 省</p> <p>自治会で相談したように、五年生として努力していききたい。</p>
四月六日(金) 晴 日直 浅井 勇	朝 礼	<p>校庭。自治委員任命式。校長先生から学校自治についてお話があった。</p>	<p>1. 学級自治会(九・〇〇一・〇・〇〇) 自治委員からあいさつがあった。 「学校自治をどのようにしたらよいか」 五年生としての心がけを話し合う。</p> <p>2. 単元学習「生活の合理化」(二〇・二五・二二・〇〇)</p> <p>研究問題の発表(個人・分団) 研究グループの相談</p> <p>3. 人口調べ「グラフ」(一・〇〇一・二・〇〇) 4. 言語「個別学習」(二・〇〇一・二・二〇) 5. 体育「リズム体操」(二・二五・三・〇〇)</p>	<p>清 整</p> <p>良好。教室とろう下に花をかざる。(二はん)</p>	<p>家庭学習</p> <p>「生活の合理化」研究方法</p>	<p>反 省</p> <p>自治会で相談したように、五年生として努力していききたい。</p>

二 ペン字の書きかた

○用具

ペン先、ペンじく、インク、すい取紙、用紙。
ペンは使いおわつたらよくぬぐっておく。

○ペンの使いかた

1. ペンは、軽く持ち、あまり下を持たない。
2. ペンは、内側を下方に向けて、ペン先が紙の上に平らにつくようにして

書く。

3. ペンは、なるべく軽く運んでいく。

○しせい

1. むねをつくらにおしつけないようにする。
2. あまり目を低くさげず、三十分

セチくらいあくようにする。

3. 左手は紙の上のせ、左ひじを前にはらないようにする。

家庭序減減

内側を下方に向けて、ペン先が紙の上に平らにつくように書く。

左手は紙の上のせ、左ひじを前にはらないようにする。

衣食住。 家庭学校社会

温注活消法漁港減減満演

三 文字の形をよくする方法

1. 変化をつけて書くこと。

三 三 三

責 手 理 詩

2. 間かくを同じにすること。

建 多 憲

3. へんとつくりの関係を考えること。

私 味 語 連

4. 中心の位置を考えること。

中 下 不 等

5. 字の大体の形を考えて書くこと。

国 月 衣 際

○はやく生き生きと書けるようにするには、だんだんペン先のほうはすみを利用して書くことよ。

は^がすみを利用してはやく書く。

変化あると 責 手 理 詩

間かくを同じに 建 多 憲 簡

へんとつくりの 関係 私 味 語 連

中心の位置 中 下 不 等

字の大体の形 国 月 衣 際

四 覚え書き

覚え書きは、ノートや手帳に心覚えのために、要点を書いておくもので、

いろいろの場合に使われる。

○日常生活で、友だちと約束したこと。

○一日や一週間の学習の予定。

○見学や遠足、運動会などの諸注意。

○見学の時、調査したことや、聞いた

話の要点。

○友だちに伝えたい話の要点。自治委

員会などできまったことなど。

○心にうかんだ詩やうた。

○研究発表の要点や順序など。

このほか、いろいろの場合に書きと

めておいた方が便利なおことが多い。

覚え書きを書いておいて、物事をわ

すれないようにしよう。また、仕事の

順序を考えよう。

覚え書きは、正しい美しい字で、速

く書けるようにしよう。

五月二日

一、分団学習—住居の歴史を調べる。

二、子どもの日計画。ホスターをかく。

三、北海道のおしに手紙を出す。

研究発表の要点(五月六日)

一、研究の目的。二、研究問題。

三、調査研究の方法。参考資料。四、結果。

五、興味を感じたと、残された問題。

五 プログラム - 母の日子ども会

五月の第二日曜は、国際的な行事である母の日である。子ども会を開いて、おかあさまに感謝し、おかあさまをおなぐさめしよう。

子ども会のプログラムをつくって、おかあさまをご案内しよう。プログラムを見やすく美しく書くことが大切である。

○つぎのおかあさまをたたえる詩を美しく書いて、おかあさまにささげましょう。不幸、おかあさまをなくしたかたは、またまにささげましょう。

人の心の煙にさした、^{いちはん美し花}

天と地にかがやくものの中へ、

^{いちはん清流かな、すみきりたま}

それは、おがあさまの愛です。

わたしをまもるためには、

^{どんが困難も戦へ、あゝ}

^{ひくかほん、おたが子のたすきも}

おきもらさばい、^{あゝ}

わたしのためには、

いはの道をもふみわた、^{あゝ}

私たちの幸福の「すみ、おがあさま。

こんばん、夕飯の後で、子ども会を

開きます。どうぞおたのしみください。

プログラム

一、母の歌

ニ、プレゼント 感謝のこは

順子・政・憲二

三、作文ろい読

憲二

四、七つのがき

政一

五、人形しばい「幸福の王子」

順子・政一

体格・体力表

月 日	5・12	・	・	・	・
身長 (cm)	134・3	・	・	・	・
体重 (kg)	29・2	・	・	・	・
胸围 (cm)	63・8	・	・	・	・
走力 100m(秒)	16・0	・	・	・	・
1000m(分)	4・20	・	・	・	・
跳力 はばとび(m)	4・15	・	・	・	・
投力 ボール投げ(m)	42・50	・	・	・	・
けんすいカ(回)	7・	・	・	・	・

五年三組 川島正一

体格と体力の検査をしよう。どういふことに
ついでしたらよいか、皆で相談してきめよう。
かかりをきめておたがいに測定しよう。
測定したら各自の表をつくらう。
検査に使う表をつくる。
一学期一回ずつ測つて、どのくらい進歩する
か記録していこう。
左の表はその参考である。

六 体格・体力表

体格・体力表

身長 (cm)	134	・	3
体重 (kg)	29	・	2
胸围 (cm)	63	・	8
走力 100m(秒)	16	・	0
1000m(分)	4	・	20
とぶ力 はばとび(m)	4	・	15
投力 ボール投げ(m)	42	・	50
けんすいカ(回)	7	・	

5月12日 【川島正一】

七 からだに気をつけよう

— 字を書く時のしせい

○字を書く時のしせいに気をつけよう。

1. こしかけを十分前にひきよせる。

2. からだを曲げないように気をつける。

下はらにやや力がいいるようにする。

3. 両あしは、そろえてしぜんにおき、

ゆかに平らにつける。

4. 目と用紙の間は、三十センチぐらい

はなして書く。

5. 左手で紙をおさえ、左ひじをはらな

いようにする。



筆順

衛 イコキ 子
防 フン 子
医 イ 子

伝	せ	ん	病	医	師	か	ん	護	婦
水	泳	休	息	身	体	検	査	消	化
衛	生	保	健	注	意	予	防	運	動
よ	い	字	は	よ	い	し	勢	か	ら

八 文のなおし方

文が書けたら、くりかえし読みなおして、はじめに書こうと思つたことが十分書かれている

か考えてみる。

ことばや、ことばづかいや、いい表わし方を

なおしていく。いらない所をとつたり、たりな

い所をいれていく。

1. いらない所を——で消す。

2. なおす所は、——で消してその右側に書く。

3. たりない所を——このようにしていれる。

~~書きためた~~文や詩がたまつ

たので、^{ゆめにまで見た}自分の文集をつくつ

た。

読みかえしてみると、とて

も楽しい。ことばの記録は、

心の甘藷だと思つた。

文や詩がたまつたので、

ゆめにまで見た自分の文集

をつくつた。

読みかえしてみると、と

ても楽しい。ことばの記録

は心のフルバムだと思つた。

九 見学報告書 (二)

○現場学習に行くのには、目的をはっきりつかみ、問題と質問をきめて行くことが大切である。計画をしっかりとたてなければ、よい結果は得られない。

○見学が終わったら、報告書を書こう。

1. 見学で集めた、いろいろな資料を分類する。

2. 参考書や、地図・図表・統計・写真・標本などをよく見て、見学したことと比較研究する。

3. 見学した時に、聞いた話を書いたノートや覚え書を整理する。

4. 調査研究を整理して、順序よく、わかるように書く。

○報告書をみんなで発表し合って、問題が解決されたかどうか話し合おう。

○報告書を、おたがいに見せ合って、美しくわかりやすく書けたのを選ぶ。

「ほう績工場の見学」

1. 綿をほいで、ローラーにかける。

2. ローラーの回転に、丸適當が

厚さにほいで出てくる。

3. 綿は、なみを取りのけられ、うすい綿になる。

4. うすい綿は、いくの綿の列にな

り、それが太いひもになつて出る。

5. 精ほう機にかけて、細糸になる。

十 見学報告書(二)

— 立つていて学習帳に書きとめる

○立つていて学習帳に書きとめる。

見学に行つて調査したり、人の話を聞いて学習帳に書きとめる時には、立つたまますることが多い。

立つていて書くには、下じきをしたり、

学習帳の下に本や画板などのようなかたいものをしいて書くときよい。学習帳がゆれないようになりからだに引きつけるか、左ひじをしつかりからだにつけて書くことが大切である。

えん筆はあまりかたくないものを使って、

軽く要点を速書きしていく。特に注意を要することは、色えん筆などであるしをする。

○見学報告書の書き方

見学報告書は、下のよう項目について書く。研究した問題について、いろいろくふうして見学報告書を、わかりやすく美しく書こう。

氏名 組 年 月 日 研究報告書(要項)

一、 研究題目・問題 二、 研究月日

三、 研究方法(見学・調査・面接・実験)

四、 研究の結果・問題の解決

五、 製作物(グラフ・説明図・地図・図表・紙芝居・ゲキ台本)

六、 利用した参考図書・資料

十一 標語集め



標語をつくろう。
標語はホスターに書いたり、私たちの黒板に書いたりして、私たちの生活の目あてとしよう。

伝せん病は文化のはじ

物を大事にむだなく使え

図書館は特に静かに

人権尊重 平和国家

○標語を集めたり、自分でつくったりしよう。

○下の練習ができたら、右に書いてある標語を

見て書いてみよう。

○ホスターを書こう。ホスターに書く時には、

字体や色のつりあいを考えよう。

再 建 権 義 務
らに。言へ。本ニ作。羊皮。務。予、冬、

夏の光にきたえよからだ。

文化の力が祖国再建。

権利の前に義務があり。

理想あるとこそ進歩あり。

十一 スポーツの秋



健全な精神は健全な身体に

宿るといふことわざがあるよ

うに身体の健康と精神の安定

とは深い関係をもっている。

スポーツは、健康増進のほ

かに、規則（ルール）を守る

心、公明正大、明るうで快活

な心、協同、にんたいと努力

などいろいろな精神を育てて

いく。

秋は燈火親しむといわれ、

勉強に身のいるときでもある

が、また、スポーツにはこ

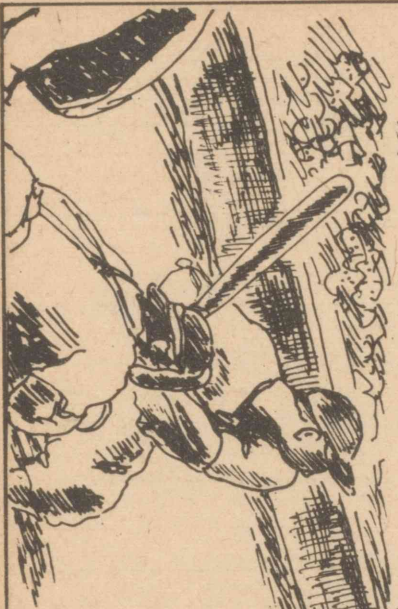
ろよいときでもある。

いろいろなスポーツをや

てみよう。

○いろいろなスポーツの種類

をしらべてみよう。



身体	は	深	い	関	係	を	も	っ	て	い	る。
健康	と	精	神	の	安	定	と				
健康	増	進	。	規	則	を	守	る。	公		
明	心	大	。	明	ろ	う	快	活	協	同	に
ん	た	い	と	努	力	な	が	ど	の	精	神。

十三 天気予報 — 聞いて書く書き方

○聞いて書く書き方

私たちの生活の中には、人から話を聞いたこ

とや、ラジオの放送や、読んでもらったこと

を聞いて書くことが多い。聞いて書くことに

なれるように 人にとってもらって速くまち

がえないように書けるように、くりかえし練

習してみよう。

○つぎの天気がいきょう、天気予報を人にいっ

てもらって練習をしよう。

天気がいきょう 九月二十日発表

高気圧の中心が、本邦の東方洋上にさり、低

気圧が黄海東部に出てきたので、本邦はいっぱ

んにうすぐもり、またはくもりで、九州では雨

のふつている所もあります。関東地方はうすぐ

もり、または高ぐもりとなりました。

東京地方の天気予報、今晚は南のち北よりの

風くもり、所により一時小雨。明日は北よりの

風、くもり、朝夕時々小雨、日中は晴れまがあ

ります。

東京地方の天気予報

今晚は、南のち北よりの風、くもり、

所により一時小雨。

明日は、北よりの風、くもり、朝夕

時々小雨、日中は晴れまがあります。

本日の最大風速 南毎秒六メートル

最高気温 二十六度

最小し 七度五十五%

十四 ひらがなのけいこ

ひらがなの字形を、よく研究しよう。なんども書いて、自然によく書けるようになるまで練習しよう。

い
ち
よ
ら
だ
ら
お
く

は
ぬ
そ
お
く

た
け
ふ
え
て

あ
き
ゆ
め
し

(ま)
も
せ
す
ん

○下の練習ができたら、つぎの練習をしよう。

見わたすかきりのたんぼはどこも人でいっぱいです。年よりも、子供も、男も、女も、家じゅう村じゅう絵出です。
エレベーターをあやつる大きな車輪がまわっている。トロッキコを
おして炭坑にはいっていく工員、ヘッドライトにたよって現場に
近づく。たぐましい顔、うで。

み	ご	と	に	育	っ	て	い	る	植	林	の
中	で	ほ	か	の	本	を	そ	な	わ		
な	い	よ	う	に	き	り	た	お	す	は	事
は		な	か	な	か	む	ず	か	し	い	

大	勢	の	人	々	が	力	を	あ	わ	せ	
て	船	を	海	に	す	べ	り	出	さ	せ	る。
男	子	も	女	子	も	元	気	よ	く	仕	事
し	い	も	の	で	あ	る。					

十五 私の家

自分の家の家族や、家族の仕事調べよう。

家の間取図を下の方眼紙に書いて、へやの名を書きいれよう。できたら、へやのぐあいよくできている所、不便の所を調べよう。



○めいめいの家の間取図を下に作図し、室の名を記入しよう。

関 居 姉 母
シニニニ
ル
コ
ノ
ク
ク
ク
ノ
ク
ノ
ノ
ノ
ノ
ノ
ノ

この大きさによって、一目をりを一間にするか半間にするかきめる。

父	母	祖	父	祖	母	兄	姉	弟	妹	自	分
居	間	茶	の	間	客	間	室	げ	ん	関	の
便	所	ふ	ろ	場	物	置	下	台	所	所	所

十七 切抜帳、抜書帳をつくる。

○新聞の切り抜き・抜き書き

新聞記事のうち、重要なものを選んで、切抜帳(スクラップブック)や、抜書帳(書いてあることの要点を書き抜く)をつくる。新しい日本の歴史の資料となっていく。

統計や、図表、写真など研究の参考資料になるものも発表されるから、これらも切り抜いてはったり、抜き書きしていく。

○参考図書の抜き書き

私たちが研究をしていく時、参考書の要点を抜き書きして、研究の参考にすることが多い。また、研究のほかに読書をしていて、気に入ったことばや、表現のしかたに出会うことも多い。抜書帳をつくて、いろいろの場合、参考になることを抜き書きしていくことは、おもしろいことであるし、便利なことでもある。

雪と交通

○わらぐ。スキー。そり

○がんじき(竹や木をおりまげ丸輪にしたもの)

○かん木(家の軒を道に長く突き出して)

柱で支えた(もの)と雪のトビネル

○雪まけの汽車(リッセル車)

ロータリー・ブックレー・シヨルダン(が)

○たがにれむ(防雪林・ソールのなおい)

山のしや面にかがたくくいを(ま)

十八 写生—作文の態度

写生というと、風景や静物の写生を思い出すこと
 であろう。実際のありさまを、ありのままに書き写
 すことである。生き生きと写し出すといつてもよい
 である。

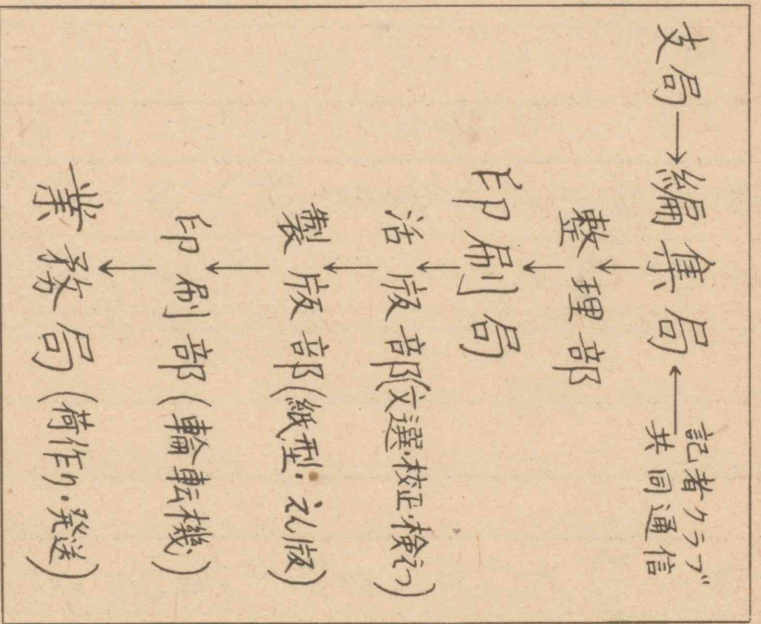
写生は、そのまま作文についてもいえることであ
 る。よい作文は、まあ何といつても作者自身の真実
 を表現していなくてはならない。真実な生活の表現、
 真実な思考、感動、ものの見方が、ありのままに表
 現されることが大切である。見たこと、考えたこと、
 おこったことを、ありのままに生き生きと力強く書
 き表わす。これが写生である。
 ただ美しいことばを書きつらねたり、いたずらに
 形を整えたりすることは、真実から遠ざかるだけ、
 まずい文章といわなくてはならない。
 「文は人なり。」ということばがある。文はその人の
 人格を表わすものである。真実・真実と心に唱えな
 がら表現するところに、文の生命がやく動して来る。
 ○右の文をよく読もう。全文の速書きの練習を
 しよう。

真実な生活の表現、真実な
 思考、感動、ものの見方が、あり
 ままに表現されるのが大切である。
 「文は人なり。」といふことばがある。
 文は人の人格を表わすものである。
 形を整えたりすることは、真実から遠ざかるだけ、
 まずい文章といわなくてはならない。
 「文は人なり。」ということばがある。文はその人の
 人格を表わすものである。真実・真実と心に唱えなが
 ら表現するところに、文の生命
 がやく動して来る。

十九 文化の日にちなんで

—— 新聞社のそしき

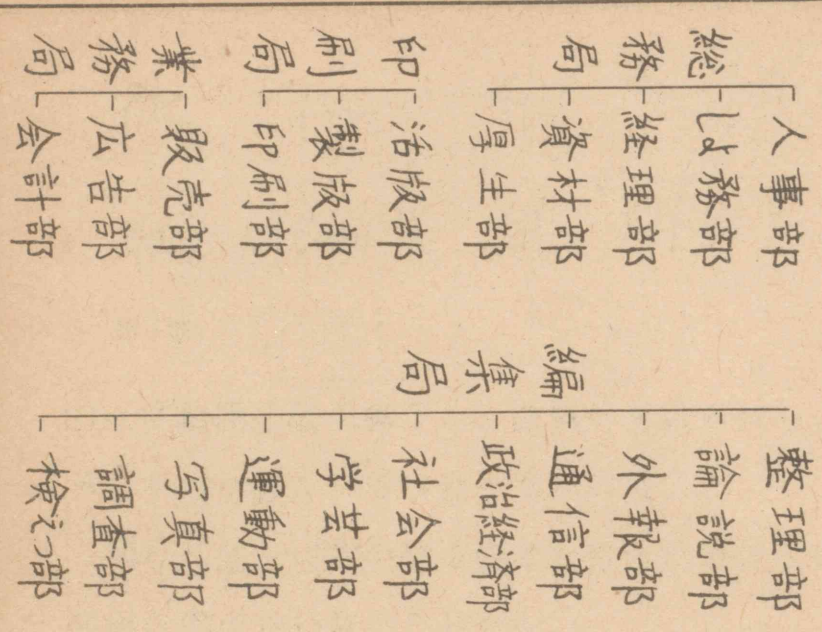
文化の日にちなんで、新聞社のそしきを調べてみた。編集局のそしきは学級新聞の編集に参考になると思った。



○表示のしかた (表にしめしかた)

表示するには、ひと目見てわかるように、同じ間かくに美しく書かなければならない。
○下の練習ができたら、右の表を見て、ほかの紙に書いてみよう。

新聞社のそしき



二十色の研究

色には、白・はい色・黒のような無彩色と、

赤・だいだい・黄だいだい・黄・黄緑・緑・青
緑・青・青むらさき・むらさき・赤むらさきの

ような有彩色とがある。色の名をおぼえよう。

また色には、その色のもつ明度がある。明度

を知っていると、図案などを書く時に、色を組

み合わせるのにつごうがよい。

ポスターや広告やかんばんなど、町を歩いて

目立つ色どりに気をつけよう。

色のちがう二色を組み合わせたものをたくさ

んくって調べてみるのもおもしろい。

○下の明度の表を書いて、明度をおぼえよう。

筆順

黄 二〇一六
無 二〇一八
有 二〇二〇

明度号	色名	備考
20	白色	白
19	黄色	黄
18	黄だいだい・黄緑	黄だいだい
17	だいだい	
16		
15	緑	緑
14	赤・緑青・青	赤むらさき
13	赤むらさき	
12	青むらさき・むらさき	
11		
10		黒

はい色 ←

無・有はい色。明度。図案。広告。

二十一 格言を集めよう

格言とは、教えになることばをいう。

東西古今の偉人の格言を集めよう。そして自分の生活の道しるべにしよう。

○下のお手本を見て、字くばりと字のつながりに気をつけて書いて見よう。

○できたら、左のお手本を見てほかの紙に書いてみよう。

○自分の集めた格言も、ほかの紙に書いてみよう。

う。大きな紙に書いて、自分のへやにかざろう。

ペンにはけんも力あり。

節制と労働とは、人の二大徳である。

美は精神の健康である。

東京より日本は廣い。日本より頭

の中は廣い。

親切は、社会を結合する黄金のくさりである。

自分の意志を發表することは、

自由人の権利である。

人の短所をいふなかれ。おのれの

長所をとくなかれ。

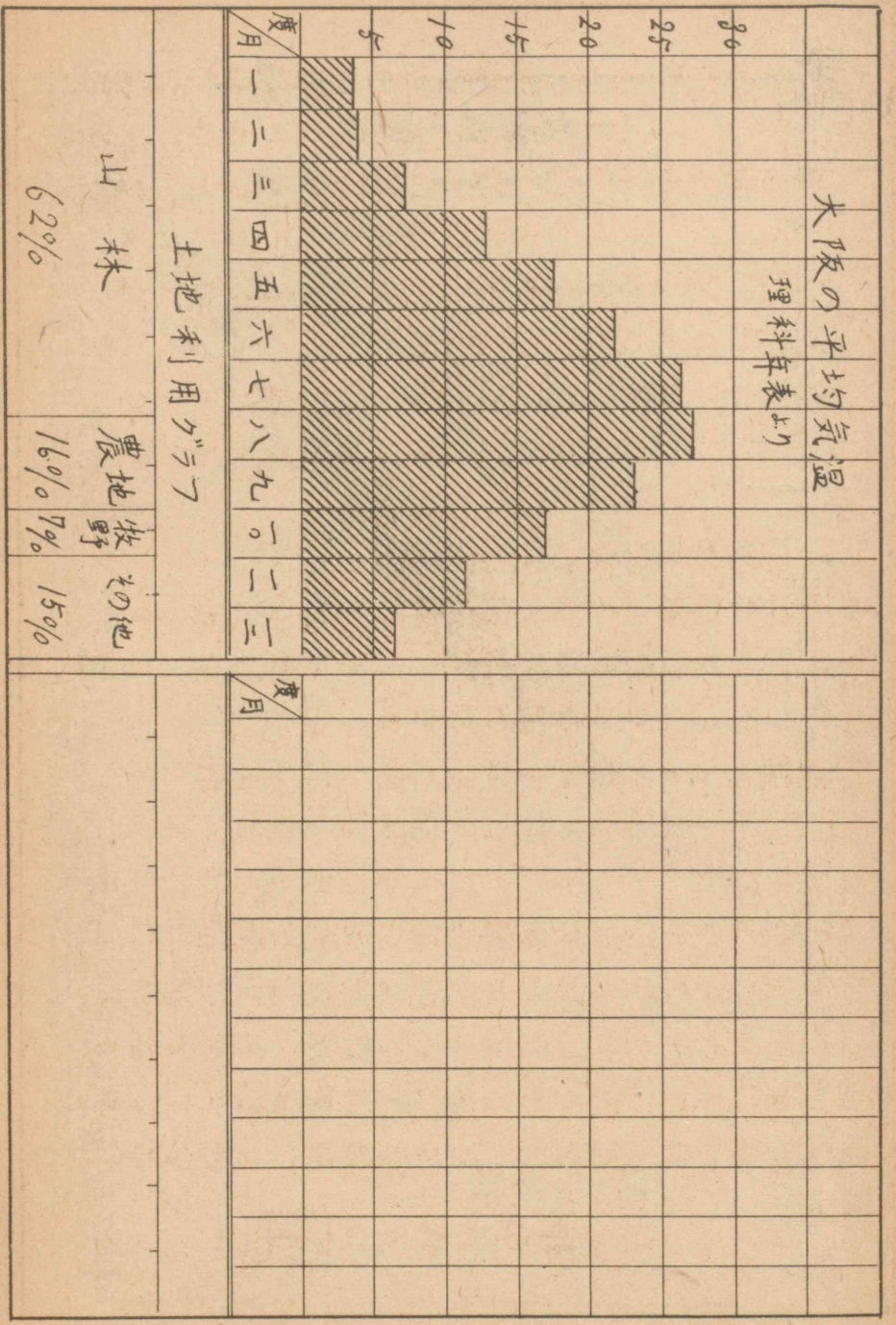
二十一 グラフの書き方

いろいろの統計表から、目で見てはつきりわかるようにするためにグラフを書くことが多い。グラフのいろいろのつくり方や、どんなものにするかの表わし方を使つたらよいか考えよう。グラフには説明の字や必要な数字をはつきり書くことがたいせつである。

○グラフのいろいろ

1. 棒グラフ 棒で表わされたグラフ。比較するのに使われる。
2. 折れ線グラフ 変化をみるのによい。
3. 帯グラフ 全体を帯の長さで表わしたもので、部分の割合を知ることができる。
4. 円グラフ 全体を円で表わしたものである。
5. 正方形グラフ(面積グラフ) 割合を正方形の大きさに表わすもの。
6. 点グラフ 地図の中などに点の数によって表わすもの。
7. そのものを表わす絵の形の大小や数で表わすもの。

まだいろいろなものがある。くふうしよう。





二十三 音楽によく
出ることば

○ 音楽の要素

1. 動律 (リズム)

2. 旋律 (メロディ)

3. 和声 (ハーモニー)

○ 拍子

一・三・四・六拍子

○ 音程

○ 音階

ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド

○ 楽譜

音符 (全・二・四・八分)

音符など)

休止符 (全・二・四・八)

分休止符、附点休

止符など)

拍子記号 ($\frac{2}{2}$ ・ $\frac{2}{4}$ ・

$\frac{3}{4}$)

調号

長調・短調など)

○ 略号

“どういたが” どういたが “せんりつ” が
考えながら書くこと。

音楽要素 動 せんりつ

和声 四拍子 全音ふ

音程 音階 拍子記号

八分休止ふ 長調 短

調 調号 楽ふ 略号

二十四 国民の祝日

自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつゝ、よりよき社会、より豊かな生活

を築きあげるために、ここに国民こぞつて祝い、感謝し、または記念する日を定め、これを「国民の祝日」と名づける。

○元日(一・一)年のはじめを祝う。

○成人の日(一・一五)おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます。

○春分の日 自然をたたえ、生物をいつくしむ。

○天皇誕生日(四・二九)天皇の誕生日を祝う。

○憲法記念日(五・三)日本国憲法のし行を記念し、国の生長を期する。

○こどもの日(五・五)こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。

○秋分の日 祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ。

○文化の日(一・三)自由と平和を愛し、文化をすすめる。

○勤労感謝の日(一・二三)勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝する。

○全文をほかの紙に、書いてみよう。

おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます。

日本国憲法のし行を記念し、国の生長を期する。

こどもの日の人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。

二十五 文字のくせと書風

人には、字を書く時に、いろいろなくせや、書風（書きぶり）がある。

○右上りのくせ

○右下りのくせ

○まがるくせ

○ぎようが上つたりさがつたりするくせ

○字と字の間がつまつたりあいたりするくせ

○角ばつた書き方をするくせ

○まるまつた字を書くくせ

○うち側をせまく、ひきしめて書く書風

○うち側をひろく、ゆつたりと書く書風

○変化をおもんずる書風

○素ぼくさを尊ぶ書風

○いろいろな職業にあつた書風

練習をつけていくうちに、自分の気持によ

く合つた字がうまれてくる。悪いくせをなおし、

心持にびつたりする書風を生み出そう。

いろいろ書風の字を練習し、最後に自分の好きな書風を書いてみよう。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

文字。書風。練習。創作。

二十七 対話 — 人形しばい

対話は二人の人の話をいう。対話を

書く時には、「」を使って表わす。人

の話しことばであることがわかるよう

に、「」をはっきり書こう。

ふつうの文の中に、人の話をいれる

ときには、行をかえて、人の話である

ことをはっきりさせる。

○「」の使い方

1. 人の話を表わす。

2. ふつうの文の中で、話でなくとも、

とくにはつきり表わしたい場合に

「」を使うこともある。

3. 人の話の中に、ほかの人のことば

をいれる時には『』を使う。

○人の話をいれた文を書いてみよう。

○対話だけの文も書いてみよう。対話劇に

使えるようにくふうしてみよう。

「詩も絵も音楽もある。喜ばや、

悲しみや、伝説・歴史やをぶ台に

あらわそうとする望みもあるのだ。」

「でも、生きた人間のほうがうまく

やれるし、それに便利でしょう。」

「便利とか不便だけで物事を考

えがいたら、人間の美しさや

おもしさを生かしてゐるのだ。」

二十八類字集め

よくにている字を集めよう。にている字を練

習することは、筆順の練習にも、字のつくり

も、字の形の練習にも、字をはつきりおぼえる

ためにも役立つ。

○へんが同じで、つくりがちがうもの。

○つくりが同じで、へんがちがうもの。

○同じ発音で意味のぜんぜんちがうもの。

○へんもつくりもちがうが、よくにいてまち

がえやすいもの。

つきにいくつか例をあげてみよう。このほか

いろいろさがしてみよう。

設説 飯 飲 郡 群
栄 営 功 効 績 積
読 続 織 職 型 形

詞 詩 季 委 健 建

左がわに楷書で、右がわに行書で書く。

詞 詩	季 委 健 建								
設 説	飯 飲 郡 群								
栄 営	功 効 績 積								
読 続	織 職 型 形								

二十九 卒業生を送る歌

卒業式も間近にせまった。卒業生を送る最上級生として、りっぱな式にするようによく歌を覚えよう。

○白紙に書く

白紙に書くには、つぎのようなことに注意して書くことがたいせつである。

1. はじめに全体がうまくはいるように、どの

くらいの大きさに

書けばよいか考

える。

2. 行がまがらない

ように中心線を

考えながら書く。

3. 行と行の間が同

じになるように

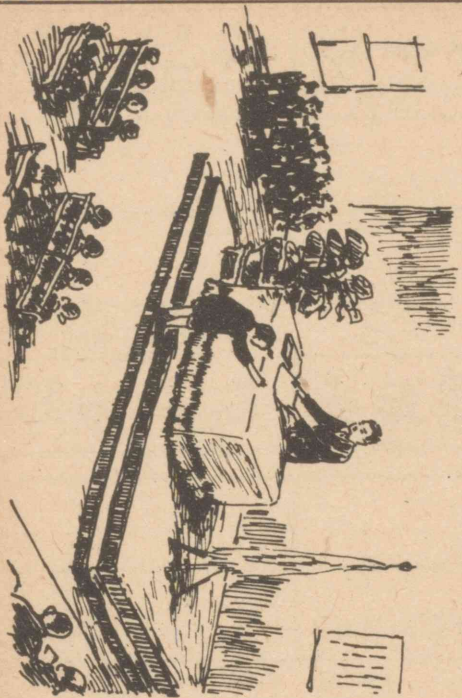
書く。

4. はじめの字が、

上つたり下つた

りしないように

そろえて書く。



卒業生を送る歌

ほたろの光　まことの雪
 文讀む目　かまぬつ
 いしか事も　まことのま
 あけておけば　別れぬ。
 とあるもゆく　限りなく
 かなみに思ふ　ちまらず
 心のはしを　ひきくに
 たまことばが　歌うがや。

三十 最上級生になる
卒業式で、六年生を送ると、
いよいよ最上級生となる。何だ
かゆめのようだ。えらくなるよ
うな気がして、とてもうれし
い。しかし、その半面、何となく
不安なような気がする。はたし
て最上級生として、自治活動や
研究やそのほか下級生をうまく
指導できるだろうか。
熱と意気。誠の心をもち、す
べての事に当れば、必ず解決
の道があると確信する。地域の
代表として、班の委員として、
実のある生活を築いていきたい。

右の全文をほかの紙に書いてみよう。
最上級になる感想を作文しよう。

熱と意気。誠の心をもち
てすべての事に当れば、必
らず解決の道があると確信
する。地いきの代表として、
はんの委員として、実のあ
る生活を築いていきたい。

10	小国 541
春陽	

総頁 六四頁

昭和二十六年 月 日 印刷
 昭和二十六年 月 日 発行

小学 書き方(五年)

定価

著作者 西 脇 吳 石

発行者 春陽堂教育出版株式会社

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

代表者 和田 欣之介

東京都台東区二長町一番地

印刷者 凸版印刷株式会社

代表者 山田 三郎太

東京都中央区日本橋通三丁目八番地

発行所 春陽堂教育出版株式会社

電話日本橋〇五・四八四八

本書の著作にたずさわった人

西脇 吳 石	栗原 静 一	同	東京学芸大学教授
木村 孝 一	櫻場 一 一	同	
武藤 重 一	島 一 一	同	
龜井 嘉 子	同	同	
倉田 三 郎	同	同	
浜野 政 三	同	同	
石井 政 三	同	同	
明雄 雄 郎	同	同	

広島大学図書

0130449901

